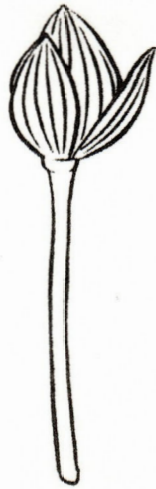


立体というものをどのように理解するのか？ = 正面、側面、てっぺんの3つの方向の形でとらえる。
前回その練習をコーヒーカップでやってみました。今度は仏像彫刻でなじみの深い観音様の持つ蓮華で見てみましょう。



こんな図面が教科書（仏像彫刻のすすめ）に載っています。

これをどのように彫りますか？

こんな感じ、とひたすらに丸くしていったりはしていませんか？

彫る前に少しどうしたらいいのか考えてみましょう。

まず、定石で正面、側面、てっぺんから図面を書きます。

（本来なら、どこが正面か、軸はどの方向にどのように曲がるのか考えののですが
今回は形をとらえる練習なのでそれは無視します）

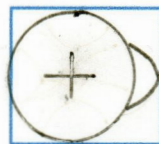
正面



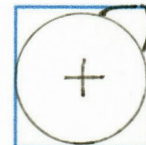
側面



てっぺん1



てっぺん2



おおむねこんな感じになります。正面、側面は問題ないとして、普通てっぺんは1ですが、てっぺん2でもありですね。こういう風に頭の中が整理出来たら、大分形を出すための準備ができたことになります。



元気が
一番です